

研究主題 児童が「分かる・できる」喜びを味わいながら学習意欲を高め、  
基礎的・基本的な内容の定着を図る算数科学習指導法の研究

学校教育目標

目指す児童像

豊かな心を持ち、たくましく生きる 心身ともに健康な子どもの育成  
『自分や友達が好き、東小が好き、東のまちが好きな子ども』

1年次に目指す児童像

算数が好き・楽しいと感じ、意欲的に学習に取り組もうとする児童

見取りの方法

学力の向上を目指す

児童のノート  
算数アンケート  
CRTなどのテスト

基礎的・基本的な内容の定着

仮説実証のための手立て

児童のノート  
算数アンケート  
行動観察

意欲的な学習態度

導入の工夫

算数アンケート  
行動観察

算数が好き・楽しい

- ・教材提示の工夫
- ・キャラクターのイラストの活用
- ・単元を通したストーリー
- ・ミニテスト
- ・場面設定の工夫
- ・陣取りゲーム
- ・ミッションカード

1年次 児童の学習意欲を高めるための導入の工夫

研究仮説

児童の興味・関心を引き付けるための授業の導入を工夫する。さらに、主眼に迫るような発問の工夫、自分の考えを書き表し振り返られるようなノート指導を継続的に行う。これらの指導を積み重ねた授業づくりをすることにより、算数が楽しいと感じるような児童が増え、基礎的・基本的な内容の定着を図ることができるだろう。

指導の継続

- ・ノート指導
- ・中心的な発問

本校の学習の基盤である三つの要素

- ・ 集団作り
- ・ 学習規律
- ・ 学習意欲

児童の実態

昨年度までの研究を踏まえて・・・

成果 ○ 自分の考えを少しずつ書けるようになってきた。 ○ 学び合いのできる集団になった。(集団作り)

○ 始業開始のチャイムで授業が始められるようになってきた。(学習規律)

課題 ○ 学習意欲が低く、積極的に自分の考えを表現できる児童が少ない。 ○ 難しい問題では途中であきらめる児童が多い。

○ 集団作り・学習規律も継続して取り組まなければすぐに崩れてしまう。